

第13回日本予防医学リスクマネジメント学会学術総会

ホームページ: <http://www.jsrmpm.org/13JSRMPM/>

全体プログラム

会期

第1日 2014年9月21日(日)午前9時～午後8時30分

第2日 2014年9月22日(月)午前8時30分～午後6時

会場 (東京大学本郷キャンパス。東京都文京区本郷 7-3-1)

(第1会場)	医学部2号館本館3階講堂	3月7日(十)	
(第2会場)	医学部2号館本館1階講堂	3月7日(十)	
(第3会場)	医学部1号館本館3階講堂	3月7日(十)	
(第4会場)	医学部1号館本館1階講堂	3月7日(十)	
(第5会場)	法文2号館2階31番講堂	3月8日(日)	
(第6会場)	医学部2号館本館3階ロビー	3月7日(十)	企業展示
(第7会場)	法文2号館2階ロビー	3月8日(日)	企業展示
(第8会場)	伊藤国際学術研究センター地上2階	3月7日(十)	6時～8時 懇親会
(第9会場)	医学部2号館本館1階ロビー	3月7日(十)	受付
(第10会場)	法文2号館1階ロビー	3月8日(日)	受付

受付: 3月7日は第9会場のみ。3月8日は第10会場のみ。他の会場では行われません。

受付開始 3月7日午前9時。 3月8日午前8時

3月8日は国際予防医学リスクマネジメント学会の講演会「医療機関の災害安全対策2014 -大災害と感染症に対する医療機関インフラのあり方-」と合同開催となります。

理事会: 3月6日午後6時～8時

会員総会・評議員会: 2014年3月7日午後5時15分～午後5時45分 (医学部2号館本館3階講堂)

懇親会: 2014年3月7日午後6時～8時 (東京大学伊藤国際学術研究センター地上2階)

プログラム (第1日目)

受付開始 9:00 医学部2号館本館1階ロビー

【2015年3月7日(土)】

(第1会場) リスクの多様性と拡散へのガバナンス

(東京大学医学部2号館本館3階講堂)

10:00 開会・共同会長挨拶

中谷 久恵 (学術総会共同会長、広島大学大学院地域在宅看護開発学教授、JSRMPM 学会理事)

10:30～11:30 (教育講演: EL01) 「医療ガバナンスとは」

座長: 酒井 亮二 (学術総会共同会長、JSRMPM 学会理事長、国際医療リスクマネジメント学会理事長)

講師: 上 昌広 (東大先端医療社会コミュニケーション社会連携研究部門 特任教授)

11:30～13:00 昼食

13:00～14:30 (パネル討論会) **健康アウトカム改善のための新しいアプローチ
～ガバナンス・メジャメント・インセンティブ**

オルガナイザー: 岸本 充生 (東京大学公共政策大学院特任教授、JSRMPM 学会理事)

(PL01) 企業や病院における健康アウトカム改善の取り組み

講師: 山本雄士 (ソニーCSL リサーチャー、(株)ミナケア代表取締役)

(PL02) 行動経済学アプローチを健康リスク削減に役に立てるには

講師: 岸本充生 (東京大学公共政策大学院/政策ビジョン研究センター特任教授)

総合討論

14:30～15:00 (特別講演: SL01)

「災害医療におけるクライシス・ガバナンスの現状と未来 --医療機関の立場から」

講師: 阿部 雅昭 (石巻赤十字病院 人事課)

15:00～16:00 (教育講演: EL02) 「原子力災害リスクとガバナンス」

講師: 松岡 俊二 (早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 教授)

16:00～17:00 (口演)

(NA001) 米軍垂直離着陸輸送機 MV-22 (Osprey) を使用した我が国の医療チームとして初の災害訓練の経験
浜崎俊明 1) 中大輔 2) 芝田里花 3) 中上耕司 3)
日本赤十字社和歌山医療センター 1) 救急部 2) 神経救急部 3) 看護部

(NA005) 「予防できるはずの死」を防ぐための息災リスクマネジメントについて
星 真哉 (篠原湘南クリニック・クローバーホスピタル)

(NA006) 多職種連携リスクマネジメントを支援する、思考スキームによる共通基盤の形成方法論の開発
神山資将 (一般社団法人知識環境研究会)

17:15～17:45 評議員総会/会員総会

【2015年3月7日(土)】

(第2会場) **感染症リスクとコミュニティの備え**

(東京大学医学部2号館本館1階講堂)

10:00～11:00 (教育講演: EL03) **「薬剤耐性菌に対する危機管理について考える」**

オルガナイザー: 岩田 敏 (慶應義塾大学医学部感染症学教授、日本感染症学会理事長、JSRMPM 副理事長)

講師: 三嶋廣繁 (愛知医科大学大学院医学研究科・臨床感染症学)

概要: 薬剤耐性菌に対する医療関連施設内外の対応について、日頃から取り組んでいられる感染制御の立場から解説していただきます。

11:00～12:00 (教育講演: EL04) **「感染症危機管理としての予防接種」**

オルガナイザー: 岩田 敏 (慶應義塾大学医学部感染症学教授、日本感染症学会理事長、JSRMPM 副理事長)

講師: 岡部信彦 (川崎市健康安全研究所)

概要: グローバル化時代の感染症に対する備えについて、予防接種専門家の立場から解説していただきます。

12:00～13:00 昼食

13:00～14:00 (特別講演: SL02) **「リベリアにおけるエボラ出血熱の医療支援活動の体験から」**

講師: 加藤 康幸 (国立国際医療研究センター・国際感染症センター・国際感染症対策室医長)

概要: 政府派遣によりアフリカのエボラ感染地帯で医師として支援活動を行った体験を報告する。

14:00～14:30 (特別講演: SL03) **「ウイルス性出血熱疾患の「対症療法」を提案する」**

講師: 柴田 徹一 (東海大学附属病院元薬剤部長、臓器組織 (ECM) の損傷・修復研究所所長)

14:30～16:10 (パネル討論会) **日本における感染症国際情報の共有システムの概要** 各30分(質疑5分を含む)

概要: 感染症海外情報を収集活動する日本の代表的組織の活動概要を報告いただき、日本医療界が正しく情報共有するよう支援する。

(PL03) 藤谷 好弘 (国立国際医療研究センター 国際感染症センター)

(PL04) 齋藤 智也 (国立保健医療科学院健康危機管理部上席主任研究官)

(PL05) 感染症研究ネットワーク推進プログラムについて

永井美之 (理化学研究所新興・再興感染症研究ネットワーク推進センター・センター長)

総合討論 10分

16:10～16:30 (口演)

(NA007) **国際緊急援助隊の災害支援に関わる検査機能について: フィリピンでの台風被災支援事例**

中村 哲¹⁾, 村上 勉²⁾, 翠川 裕³⁾

広島文化学園大学看護学部, 元大阪府済生会千里病院検査部, 鈴鹿医療科学大学保健医療学部

【2015年3月7日(土)】

(第3会場) 地域の多様なリスクとその対策

(東京大学医学部1号館本館3階講堂)

- 10:40～11:00 (口演) 座長: 角野 加恵子 (広島都市学園大学健康科学部准教授)
(NA004) **訪問看護ステーションにおける職業性ストレスの実態**
三原かつ江 1), 吉松恵子 1), 中谷久恵 2)
島根県立大学看護学部看護学科 1), 広島大学大学院医歯薬保健学研究院 2)
- 11:00～12:00 (教育講演: EL05) **「食品のリスク管理とリスクコミュニケーション」**
講師: 唐木 英明 (公益財団法人食の安全安心財団理事長、東京大学名誉教授)
- 12:00～13:00 昼食
- 13:00～14:00 (教育講演: EL06) **「高齢者看護の現状と課題」**
講師: 山本 則子 (東京大学医学部健康総合科学科成人保健・看護学教室教授)
- 14:00～15:00 (教育講演: EL07) **「超高齢社会の到来と口腔ケアのリスク管理
- 医療職の知って欲しい口腔と口腔ケアの知識」**
講師: 角 保徳 (国立長寿医療研究センター 歯科口腔先進医療開発センター センター長)
- 15:00～17:00 (パネル討論会) **高齢者の栄養と摂食嚥下における危機管理**
オルガナイザー: 中谷 久恵 (学術総会共同会長、広島大学教授、JSRMPM 学会理事)
1 題 30 分
(PL06) 居宅療養高齢者の栄養評価と栄養障害への介入法
榎 裕美 (愛知淑徳大学健康医療科学部 教授)
(PL07) 高齢者の摂食嚥下と低栄養からみた介護予防的支援
梶井 文子 (聖路加国際大学看護学部 准教授)
(PL08) 食行動へのケアの質を高める専門職コラボによる訪問看護
山口加代子 (訪問看護ステーションあおぞら 所長)
- 総合討論 (30 分)

【2015年3月7日(土)】

(第4会場) 災害リスク・生活リスクとコミュニティの備え

(東京大学医学部1号館本館1階講堂)

10:00～12:00 (パネル討論会) **福島原発事故から放射線リスクを考える**

オルガナイザー: 樺田 尚樹 (国立保健医療科学院・生活環境研究部部長、JSRMPM 学会理事)

(PL09) 浜通りでの内部被ばく検査の現状と今後の課題

坪倉 正治 (東京大学医科研、南相馬市立総合病院)

(PL10) 伊達市放射能対策『心と体のケア事業』

金安 美菜子 (福島県伊達市保健師)

(PL11) 放射線と健康影響に関する「リスクコミュニケーション」と称された活動について考えること

堀口 逸子 (長崎大学)

(PL12) 原子力災害からの回復期における地域保健活動への外部支援とその課題

山口 一郎 (国立保健医療科学院)

総合討論 (10分)

12:00～13:00 昼食

13:00-14:00 (教育講演: EL08) **「長時間勤務者の健康影響評価方法 -産業医の立場から」**

講師: 大久保 靖司 (東京大学環境安全本部 教授、JSRMPM 副理事長)

14:00-15:00 (教育講演: EL09)

「職場でトラブル・リスクになりやすいタイプ”のうつ病に関する効果的なリスク・ガバナンス -産業医の立場から」

企画提案者: 村田 勝敬 (秋田大学医学部衛生学教授、JSRMPM 学会理事)

講師: 笹原 信一郎 (筑波大学医学医療系産業精神医学・宇宙医学 准教授)

15:00～15:40 (口演)

(NA002) **オフィスワーカーにおける腰痛発生リスク要因の横断的検討**

福谷直人¹、浅野健一郎²、篠原賢治²、榎本善治²、青山朋樹¹、坪山直生¹

¹: 京都大学大学院医学研究科人間科学系専攻

²: 株式会社フジクラ 人事・総務部 健康経営推進室

(NA003) **放射性物質の健康リスク評価を目的とした、セシウムの内部被曝モデルの構築**

丸山若重 (株式会社リスク解析研究所)

プログラム (第2日目)

主催: 国際医療リスクマネジメント学会 (IARMM)

共催: 第13回日本予防医学リスクマネジメント学会 (JSRMPM)学術総会

午前 8 時 受付開始 法文 2 号館 1 階ロビー

午前 9 時 開会

【2015年3月8日(日)】

- 午前9時～午前9時30分 特別講演 **医療機関の災害危機管理訓練について**
葛西毅彦 (厚生労働省医政局地域医療計画課救急周産期等対策室)
- 午前9時30分～午前11時 **パネル討論会 I 医療機関の危機管理訓練の事例** (各30分、質疑応答を含む)
東大病院における災害対応訓練の概要 橘田 要一 (東京大学大学院医学系研究科救急医学講座准教授)
災害訓練の企画と概要 白土 直樹 (日本赤十字社事業局救護・福祉部災害対策企画室参事)
PPE (感染症個人防御具) の訓練 杵木 優子 (国立国際医療研究センター国際感染症センター院内感染管理室)
- 午前11時～午前12時 特別講演 **災害危機管理訓練の考え方**
目黒 公郎 (東大生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センター・センター長、教授)
- 午前12時～午後1時 昼食
- 午後1時～午後2時50分 **パネル討論会 II 医療機関の危機管理訓練シミュレーション** (各30分)
災害時避難シミュレーション 北上 靖大 (構造計画研究所創造工学部部長)
災害訓練シミュレーション 鶴和 美穂 (国立病院機構 災害医療センター)
感染症パンデミックドリル 秋山 健一 (日本医科大学理事長補佐)
総合討論 20分
- 午後2時50分～午後3時 休憩
- 午後3時～午後4時30分 **パネル討論会 III**
大災害に対する訓練における医療機関間連携および医療機関・地域の連携のあり方
各40分
災害危機管理訓練における医療機関間の連携のあり方 石井 正三 (日本医師会常任理事)
東日本大震災から見た災害危機管理訓練における医療機関と地域の連携のあり方 阿部 雅昭 (石巻日赤病院)
総合討論 10分
- 午後4時30分 全体閉会